

ニコちゃんの会では、重い病気や障がいがあっても心豊かに暮らせる社会づくりの一環として「ケアコミュニティハウスプロジェクト」などさまざまな活動を行っています。そのひとつに、医療的ケアの必要な人の短期入所ができる場の模索と実施があります

それらの活動から見てきたケアコミュニティハウスのキーワードは「ハレとケ」。

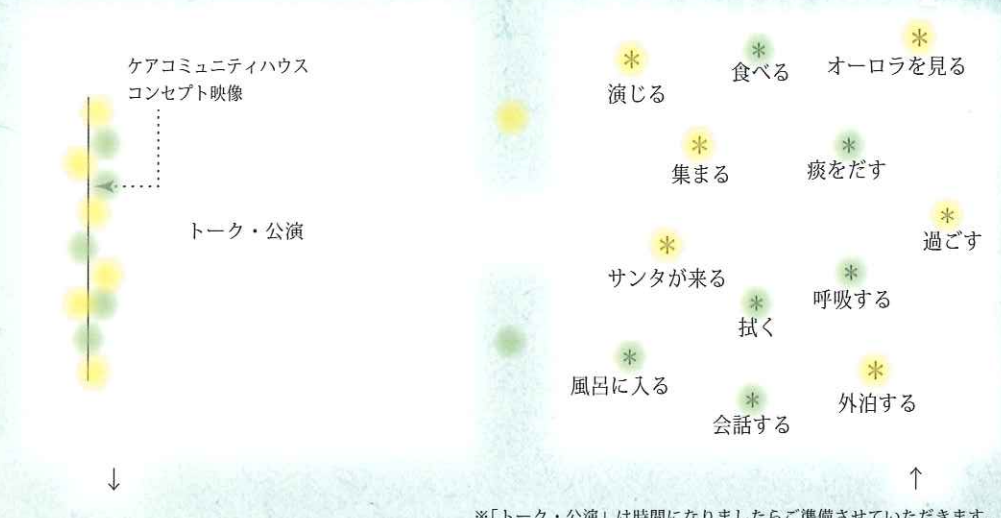
ハレは、非日常的な時間。ケは、日常的な時間。私たちの生活は、ハレとケの時間がつながっていくことで進んでいきます。

今回は、その「ハレとケのある暮らし」をテーマに展示会を行います。

私たちが考えているケアコミュニティハウスがどのようなものであるのか、近い将来の実現を目指すこのプロジェクトを是非、見て、感じて、伝えていただけたら幸いです。

重い病気や障がいのある
子どもたちや若者たちが
こころゆたかな時間を過ごすといふことは
どのようなことでしょうか。
そしてどのような場作りでしょうか。
彼らの「ハレとケ」
彼らの時間をちょっと覗いてみてください。

map



※「トーク・公演」は時間になりましたらご準備させていただきます。

トーク・公演スケジュール

展示時間中にハレとケをテーマにしたゲストをお呼びしております。

schedule

ハレ 演奏会

あいのてさん 野村 誠 / 片岡 祐介 / 尾引 浩志

11:00~11:30 (午前の部) 15:30~16:00 (午後の部)



2006 年度、今までにないエキセントリックな幼児向け音楽番組として話題になった、NHK教育テレビの「あいのて」。その後、テレビを飛び出したあいのてさんは、日本各地、はたまた、イギリス、インドネシアなど海外でも、大活躍中！「帰ってきたあいのてさん」という、自分達の番組も作って、Youtube で発表中。CD「あいのてさんライブイン富山」、「あいのてさん Live in Jogia」絶賛発売中！

ケ トークセッション

14:00~15:00 「重い病気や障がいがある人が地域でくらすということについて」

下川 和洋



東京学芸大学初等教育教員養成課程卒業後、都立養護学校に勤務され、在職より医療的ケアについての課題に積極的に取り組まれる。全国各地の学習会や研修会に講師として赴き、現在は NPO 法人地域ケアさぼーと研究所理事として活躍されている。

中岡 亜希



元日本航空国際線客室乗務員。しかし 25 歳の時に進行性の筋疾患「遠位型ミオパチー」との告知を受ける。これまで、車いすでの富士山登頂やカナダへのオーロラ探検など挑戦を続けてきた経験から現在は、デュアルスキーや水陸両用車いす HPPPO を輸入し、「誰もが大切な家族や友達と一緒に楽しめる」選択肢を増やそうと活動。

澤津 利恵



人工呼吸器をつけながら色々なことにチャレンジしている 8 歳の一人娘と暮らす 3 人家族。病気のため生後 5 日目に手術を受け、2 歳 1 カ月まで病院の NICU で過ごす。退院してからも、時々体調を壊して入院することもあるが、元気な時は毎日、母の送迎で通学し楽しく学校生活を送っている。

田邊 紀子



一女一男の四大家族。平成 15 年長男尚也を生後すぐに亡くし、その 1 年後長女を妊娠。妊娠中に長男と同じ病気ではないかと感じながら長女彩音を出産。直後に同じ病気とわかる。現在訪問教育を受ける 11 歳。出産直後から人工呼吸器を活用しながら現在に至る。平成 25 年次男聡多出産。現在彩音と聡多の世話に追われる毎日。

ケアコミュニティハウスプロジェクト

現代は、介護サービスなどに支えられて重い病気や障がいのある人たちが、地域で暮らすことも可能になりつつあります。しかし、医療的ケアが必要な人たちはデイサービスや短期入所といったさまざまなサービスを思うように受けられていないのが現状です。常に命を脅かされている人達の不安、そして家族の疲労や不安は切実な状況にあります。

このプロジェクトは、現状を少しでも改善し、さらには社会とのつながりや文化芸術に触れられる環境をつくり、こころ豊かな人生を応援する拠点を創造するものです。そして、団体の利益の一部をこのプロジェクトの基金に充当し、3~5 年後の実現を目指しています。

- 【機能①】セカンドホーム（ショートステイ）
医療的ケアが濃厚で自宅を出ることが困難である人のための短期の宿泊の場や、病院を出て在宅で暮らすための体験の場。
- 【機能②】ケアアパート
医療的ケアが濃厚であっても自分のライフスタイルに合わせて、安心して暮らすことのできる独立した暮らしの場。
- 【機能③】アクティビティーセンター
日中をその人らしいスタイルで過ごすことのできる通う場。
- 【機能④】診療所・訪問看護
医療ニーズの高い方や地域のための医療体制。
- 【機能⑤】nico cafe
人と人が交わるコミュニティスペース。日常の交流や、演劇などの芸術やイベント等のさまざまな活用ができる地域に開かれた場。

- * 明日は何をしようかな
- * タオル
- * 歩行器
- * 今週は通院の日
- * 文字盤
- * インターフォンが鳴る
- * 吸引器
- * 進む
- * 勉強する
- * 時計を見る
- * ヘルパーが来る
- * 座位保持装置
- * 段差
- * 通院する
- * エレベーター
- * 移乗
- * 親と暮らす
- * 電気を消す
- * カテーテル
- * 経鼻経管栄養
- * 酸素ボンベ
- * テレビを見る
- * 呼吸器
- * ヘルパーが来る
- * 若い人と過ごす
- * 車いすに乗る
- * 吸引器
- * お風呂がとても気持ちよい
- * iPad
- * ガーゼ
- * BP
- * 日曜日は家族で過ごす
- * ベッドでゆっくり
- * ミキサー食
- * ウトウト
- * ガーゼ
- * 主治医と話す
- * 髪をセットする
- * アルコール綿
- * 空気清浄機
- * 注入
- * ゆっくりと過ごす
- * 夜中目が覚める
- * 夕飯の準備
- * 食事介助
- * SPO2
- * 家庭用のリフト
- * 胃ろう
- * きざみ食
- * 送迎
- * 元気よい
- * 学校の先生が来る
- * 歯を磨く
- * コン着替える
- * コーヒー・ブレイク
- * 寝返りをうつ
- * 顔を洗う
- * 在月に行く
- * 歯を磨く
- * 薬局の人が来る
- * 本を読む
- * 人が家に来る
- * 初めの給料
- * お洗濯を読む
- * 大人の話聞かされる
- * 本の読む
- * 外の空気を吸う
- * 予約する
- * 非日常仕事をやる
- * 名刺交換
- * お昼休み
- * 気管カニューレ
- * 念の糸を味を歩く
- * 水を飲む
- * 寝る
- * 半固形食
- * 加湿器
- * お父さんとお母さんと遊園地
- * 血圧晴れ舞いの時間入試
- * 絵を描く
- * 友達とダダ
- * 来月のスケジュール
- * 初めて病院から出る
- * 日本を覚える
- * 演劇に役頭をやる
- * 訪問看護が来る
- * フラれた日
- * リハビリテーション
- * キッチンを掃除する
- * 声を出してしゃべりなめる
- * 誕生日
- * たし焼き屋を帰る時間
- * 枕掛け
- * unusual
- * 初日の出
- * 初夢
- * 睡眠人交錯
- * 鏡を見る
- * 雪に触れる
- * 七五三
- * パルパンが選別する
- * ケア姉あんにんを体温オーロラを見に行く
- * 手をつないで歩く
- * ベッドを起す
- * ケア姉あんにんを体温オーロラを見に行く
- * 雪に触れる
- * 七五三
- * 髪をばらばらにセット
- * 節句
- * 猿山に行く
- * 旧友に会う
- * エイプリル Fool
- * 宝くじハロウィン
- * 舞台上立つ
- * 就職
- * 声が出る
- * 大声で泣く
- * 酒を飲む
- * こどもの日
- * ハーツ
- * おもいつきり体を動かす
- * お母さんとは離れて過ごす
- * 新幹線に乗る
- * 敬老の日
- * 母の日
- * 初めてのお酒
- * 温泉旅行
- * 散歩
- * 酔いつぶれる
- * 飯が美味しい
- * 口から美味しいものを食べる
- * お父さんとお母さんとお寿司
- * 湯に浸かる
- * 父の日
- * 休日
- * 怒鳴られる
- * サンタが来る
- * 遠出する
- * 夜のお散歩
- * 同窓会
- * 発表会
- * 同窓会
- * 講話の依頼
- * 映画
- * 動物園
- * ドライブ
- * 大晦日
- * 花火大会



ケアコミュニティハウスプロジェクト展

非日常

日常

重い病気や障がいのある人の

「ハレとケのある暮らし」。

わたしたちなりに考えてみました。

2016 3 / 13 sun open 10:00 close 18:00 place

アクロス福岡 交流ギャラリー

認定NPO法人二こちゃんの会
 どんなに重い病気や障がいがあっても、その人らしい豊かな人生を生き抜く事が出来る。そんな社会を目指すために活動を行っている団体です。芸術・研究・啓発・介護（日々の生活のサポート）など多岐にわたる活動を、医療関係者、障がいのあるひとの親をはじめとした幅広い分野のスタッフで企画・運営しています。

〒 814-0153 福岡市城南区樋井川6-37-8
 TEL 092-863-5903 FAX 092-862-0597
 MAIL info@nicochan.jp
 WEB http://www.nicochan.jp



SPECIAL THANKS
 恵谷 和史, 太田 千智, 大塚 ムネト(ギンギラ太陽's), 亀岡 敏加, 小西 一也, 小松原 修, 里村 歩, 猿渡 由朗, 田上 規美子, 只松 未友希, 田村 さえ, 平畑 美枝子, 藤村 亮汰, 諸岡 光男 (art space tetra), 安岡 成妙, 柳田 烈伸, 大串ファミリー, 楠田ファミリー, 下津浦ファミリー, 原ファミリー, 宮本ファミリー, アクロス福岡, アムナス博多訪問看護ステーション, 工房まる, ニこちゃんの会でかかわっている皆さん, 福岡県立福岡特別支援学校1・2年生の皆さん (五十音順)



主催 認定NPO法人二こちゃんの会 後援 福岡市、福岡市教育委員会、福岡市文化芸術振興財団

認定NPO法人二こちゃんの会